

## 手書きPOPで販売促進

### 1. 手描きPOPで販売促進しましょう

手書きのPOPは、費用も掛からず、時間もかからなくて、対象商品・サービスをピンポイントに訴求できるすぐれた販売促進ツールです。

パソコンなどでPOPを作成することも増えていますが、現場ですぐに作成できる、温かみがある、などの点では手書きに軍配が上がります。

POPの例



### 2. POPの書き方の基本ルールを覚えよう

手書きPOPの販売促進に対する効果については、良くご存知の方も多いようです。しかし、実際に描くとなるとなかなか難しそうで、二の足を踏む方も多いようです。

その原因としては、POPは字が上手くないとダメ、POPを描くにはデザインのセンスが必要、といった思い込みがあるからかもしれません。

常識に反するようですが、POPに字の上手い下手はあまり関係ありません。また、デザインのセンスも特に必要ありません。もちろん、これらのことはあってもかまわないのですが、POPの巧拙にはあまり関係がないのです(特に商品の売れ行きにはほとんど関係ないようです)。

POPは、一定のルールがあります。これを覚えてしまうと誰でも書けるようになります。

#### 法則 その1 「レイアウトが大事」

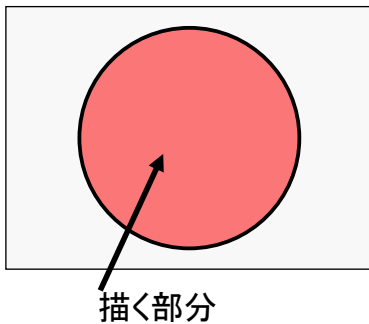
一つ一つの字の巧拙よりも、全体的なレイアウトの方が大事なのです。レイアウトのやり方を知っていると、自分が今書いている字体でPOPを作れるようになります。

レイアウトの基本

- ① 用紙の中心部分 1/2～3/2 ぐらいに描き、周囲を余白として空けておくこと  
紙のサイズが大きくなるほど、余白を大きくします。
- ② 字と字の間を空けないで、むしろ重なるぐらいで描く
- ③ 行と行の間は空けます
- ④ 字の下を揃えます

字の上はでこぼこでもかまいません、画数の大きい字は大きいほうがバランスがよいのですが、字の下だけ揃えるときれいに見えます。

レイアウトのイメージ



## 法則 その2 「字はシンプルに描く」

- ① 字は四角の中にいっぱい  
字は四角の中にいっぱいに入れて、隙間のないように描きます。こうすると、字が並んだときに隙間なく整然としているように見えるからです。
- ② 字の色は2~3色  
字の色はあまりたくさん使うと見づらくなります。基本は寒色の強い色(黒や青)を1色、暖色の強い色(赤やオレンジ)を1色、使う組み合わせがすっきり見えます。
- ③ 色味の変化は飾り罫で  
字の色が少ない分、色味の変化を飾り罫で出します。飾り罫とは、字の周りを囲ったり、字の下に線をいれて飾りにしている部分です。自由に色を使っても見苦しくありませんが、字本体より強い色を使うのはやめておいたほうが無難です。

字体の見本

(横幅がそろっていることに注意してください)



## 法則 その3 (番外編)

少々下手な方が目に留まる

いろいろ、上手に描く方法を説明してきましたが、実はPOPというのは不思議なもので、あまり上

手いと目に留まりにくくなるのです。上手すぎると、印刷に近くなっていくからかもしれません。少々欠点があって、スムーズに目線が流れなくて、一生懸命に描いてあるような POP が、一番販売効果が高そうなのです。

以上、のような POP 作成のルールを覚えられると、効果的な POP を作成することができます。もちろん、POP にはほかの要素、たとえばキャッチコピーなど、大事なことがまだたくさんあります。が、とりあえずは今回のルールを覚えていただくと、基本的な POP を作成することができます。ぜひ、実際に試してみてください。